

# 区分：人文・社会科学

授業科目名	経済と経営（消費者経済学）					学期	曜日	校時
英語名	Economics and Business (Consumer Economics)							
担当 教官名	谷村賢治	単位数	2単位	必修 選択	選 択	後期	火曜日	校時
授 業 の ね ら い ・ 内 容 ・ 方 法								
近代家計の歴史的特性は消費主体だから、本講では、現代日本の消費実態を探ることを通してわれわれの暮らし(方)さらには現代(の歴史的位置)を考えていきたい。その際、われわれの接近方法は経済学、ただしローパワード・エコノミクス。俎上とする素材は興味のもてる、身近なものに限った。								
テ キ ス ト 、 教 材 等								
テキスト、参考書は追って知らせる。								
対 象 学 生	成 績 評 価 の 方 法					教 官 研 究 室		
全 学 部	定期試験、平素の学修成績等を総合的に評価する。							
授 業 計 画								
<p>1 講：まず&lt;経済学の考え方・見方&gt;を押さえておきたい(1限)</p> <p>2 講：消費生活の現状を家計調査からみる(2・3限)</p> <p>3 講：同時に、関連する消費者行動理論をみていく(4・5限)</p> <p>4 講：ハードな消費環境：小売業の展開(6・7限)</p> <p>5 講：小売業の現状と消費者 - 環境問題に関して - (8・9限)</p> <p>6 講：時代潮流としてのサービス経済化(10限)</p> <p>7 講：サービス業のマーケティング(11限)</p> <p>8 講：観光へのまなざし(12限)</p> <p>9 講：国際化：内外価格差と規制緩和(13限)</p> <p>10 講：総括：&lt;現代消費の意味&gt;(14限)</p>								